



一流企業と次世代スタートアップをつなぐ共創プラットフォーム

会員制コワーキングスペース「KIC」開設

雑誌『経済界』を発行する株式会社経済界（以降、経済界）が新規事業として、インキュベーション機能をもった会員制のコワーキングスペース「KIC（キック）」を12月1日に開設した。

経済界は、1964年の創業以来、雑誌『経済界』で一流の経営者の人物像に迫り続けるとともに、会員制経営者コミュニティ『経済界倶楽部』を通じて、全国各地で通算2000回を超えるエグゼクティブ向けの異業種ネットワークの場をつくるなど、企業の成長と日本経済の発展に寄与してきた。

さらに、2011年からは新たに次世代のスタートアップを応援するためのビジネスコンテスト「金の卵発掘プロジェクト」を開催、いくつものスタートアップを発掘してきた。これは、既存の企業だけでなく、未来の日本を創り、世界の舞台上で活躍する、志のある起業家を応援していくことも、これからの経済誌としての社会的な役割だという思いからスタートしたプロジェクトで、これまでに受賞企業の累計資金調達額は185億円を超え、上場・M&Aも2社に上っている。

12年目を迎えた今年、ある程度の成果を見たこともあり、

想いを新たに「「経済界Golden Pitch」と名称を変更。11月10日に、最初の最終審査会も終えたばかりである。

開設日の12月1日にはオープンイベントが開催。ゲストとして、GMOインターネットグループの会長兼社長・執行役員CEOの熊谷正寿氏が招かれ、記念講演を行った。講演では、この日、特別に招待された若手起業家に向けて、自らの体験を元にした熱いメッセージが伝えられた。

情報交換やビジネスマッチング、そしてVC、CVC、事業会社などとの交流を通じて、イノベーション創出する場である「KIC」。起業家を取り巻くビジネス・投資環境が目まぐるしく変わる中、約60年の歴史を持つ経済誌がスタートしたコワーキングスペースとしても注目であり、その役割にも期待される。

KIC

〒100-0014東京都千代田区永田町2-4-11 フレンドビル3F

tel. 03-6441-3749 kic@keizaikai.co.jp



経済界倶楽部例会報告

経済界倶楽部11月東京例会（第529回）が11月18日にありました。

講師は、株式会社UPDATER代表取締役の大石英司さん、テーマは「ブロックチェーンによる『超顔の見える社会』は、世界のSDGsをどう進めるのか？」でした。

大石さんの企業のきっかけは、通勤時に目の前に立っていたキレイな女性が持っていたソーラーパネル付き携帯充電器を見た時に、この女性がつくった電気だったら買ってもし

いなと思ったことからだそうです。

そんな発想から生まれたのがUPDATERの前身である「みんなの電気」でした。「みんなの電気」は「顔の見える発電所」をテーマに小型ソーラー充電器の販売からスタートだったそうです。その後、ブロックチェーン技術を活用した電力トレーサビリティシステムを開発（第4回「ジャパンSDGsアワード」の最高賞「内閣総理大臣賞」受賞）し、再生可能エネルギーにこだわった事業を展開されています。

私たちが普段使っている電気にも実は産地があります。しかしながら、それを意識することはほとんどあり

ません。大石さんの事業は、それに対しての問題提起です。

「家庭から出るCO₂の半分は電気由来です。ですから、みなさんは知らぬうちにCO₂を出しているのです。この家庭の電気を再生可能エネルギーに変えるだけで脱炭素社会につながっていきます」と大石さん話します。

この再生可能エネルギーへのチェンジを“見える化”することができるのが、UPDATERが持つ電力トレーサビリティ技術であり、ブロックチェーンの技術ということになります。

ブロックチェーンといえば、とかく暗号通貨に目が向きがちですが、実は、商品の生産から消費までの過

程を追跡するトレーサビリティの可視化にはぴったりな技術であることが、大石さんの話からもわかります。

ブロックチェーンを使えば、この製品がどの工場で作られたものかが明らかになります。そして、これによって、例えば、いま問題になっている中国・新疆ウイグル自治区での人権問題に対して、少なくとも知らぬうちに加担してしまっているということがなくなるのです。

ブロックチェーン技術による“見える化”がSDGsの実現にどれだけ寄与するか。いまさら言うまでもないと思います。大石さんの事業の今後の展開に注目です。

編集後記

今回は、私の古巣「経済界」ネタ中心のF.K.P.通信になりました。特に「KIC」については、私が退職後にスタートした「金の卵発掘プロジェクト」が元になっており、二代目社長である佐藤有美さんが長年温めていた事業ということもあって、新しい息吹を感じるとともにこれからの経済誌の在り方としての期待感があります。ちなみに、経済界倶楽部例会の講師大石英司さんは第一回目の受賞者だそうです。

生駒正明さんは商社に勤めながらプロボクサーのライセンスを取得したという努力家。その人柄が著書にも表れています。 加藤佳悟

FKP
INFO元商社マンが明かす最強！最速！の鍛え方！
ビジネス交渉力の鍛え方

生駒正明著

“交渉”。ビジネスの世界では避けて通れないものであり、よく聞く言葉だ。

しかしながら、交渉が何であるか。明確に答えられる人がどれくらいいるだろうか。中には、営業と混同してしまって、うまくいかなくなっている人も少なくないのではないだろうか。

交渉とは何か。本書では、総合商社で33年にわたってさまざまな交渉に携わってきた著者、生駒正明氏がその疑問に答えるだけでなく、思考錯誤しながら身につけてきた「ビジネス交渉力の極意と鍛え方」の実践的ノウハウが凝縮されてまとめられている。

本書は、これから交渉に当たるビジネスマンにとって力強い味方になることはもちろんのこと、これまで何度となく交渉に携わってきた人にとっても交渉について再認識することができる一冊だ。

発行：セルバ出版 発売：三省堂書店／創英社 定価：1650円（税込）

